



世界水産物連盟ニュースレター

2022年1月



2022年の活動について

弊団体は前身である世界養殖連盟 (GAA:Global Aquaculture Alliance)として2018年の末より日本での活動を段階的に開始致しました。

2018年の政府としての漁業法の改正、2020年の特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律、みどりの食料システム戦略、養殖業成長産業化総合戦略などの動き、企業側としては水産物に関する調達方針に認証やその他持続可能性に配慮した基準を設けるなど、責任ある調達の推進がなされております。

消費者側ではミレニアル世代やZ世代を始めとして「サステナビリティ」への関心の高まり、商品を選ぶ際の重要な要素にもなっており、加えて東京オリンピック、SDGs等々、様々な要因が影響し合い「サステナブル・シーフード」が大きな流れになっております。

この流れを踏まえ、BAP認証のエンドーサー企業も25社(2021年末時点)まで増えております。

2021年4月の世界水産物連盟への統合以降、BSP認証、天然水産物の漁船レベルでの人権を保証する世界で唯一の使用可能な第三者認証の拡大も行っております。

日本国内でも、漁船レベルでの労働問題、人権に関しては非常に重要な課題と認識されており、第三者認証として保証を提供できるBSP認証を通して皆様のお役に立てると確信しております。

2022年もBAP認証、BSP認証の両方の拡大、その他弊団体で行っているブログ紹介、ポッドキャスト紹介、GOAL国際会議などを通して「責任ある水産物の拡大」を行って参ります。

次号では弊団体の2022年の目標や、2025年目標などもご紹介させていただきます。

2022年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

三井物産本店の社員食堂にてBAPサーモン丼の提供

2021年12月16日に三井物産株式会社本店の社員食堂にてBAP認証スモークサーモン丼の提供が行われました。BAP認証の4つの柱を紹介するポスターも作成頂き、社員の方々に伝わる様なお取り組みを頂いておりました。社員食堂は非常に活気があり、中でも周りを見渡してみるとBAP認証スモークサーモン丼を選んで頂いている方が多かった様に感じました。また、「サステナブル・シーフード」「持続可能」などのキーワードが周りから聞こえ、こういった活動と共にBAP認証を知って頂ける機会を頂き大変光栄です。



BAP認証の紹介ポスター



人気のBAP認証スモークサーモン丼



メニュー表示

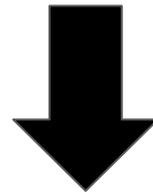


BAP認証スモークサーモン丼

BAP認証ロゴが登録商標マークになりました

BAP認証のロゴがTM(Trademark: 商品商標マーク)から®(Registered Trademark: 登録商標マーク)になりました。

今後エンドーサー企業の皆様には、以下の®の付いたロゴをご使用頂きます様にお願い申し上げます。



BSP認証取得事例

スコットランドのLunar Fishing Company、Klondyke Fishing Companyに属する80m級の漁船や、イギリス、ノーフォーク県の小型の漁船を含めた数隻が責任ある漁船基準(RFVS)を満たしました。(2021年4月、GSA発表)
責任ある漁船基準は小規模から大規模まで全ての大きさの漁船に対応しております。責任ある漁船基準を満たす事により、漁業は漁獲から岸まで、適切な労働条件と操業の信頼性を保証できます。

イギリスでのこのような進歩はMarks & Spencer、Morrisons、The Big Prawn Company、Waitroseを始めとする小売業者等の企業の取り組みの支えがあり可能になっております。

Marks & Spencerの農水産業責任者であるSteven McLean氏は次のように述べています。
「弊社はサプライヤーのLunar Fishing CompanyやKlondyke Fishing Companyの事業が責任ある漁船基準を満たしたスコットランドで最初の漁船になったことを祝福します。これは素晴らしい成果であり、サステナブル・シーフードの世界でも重要な瞬間です。」

ノーフォーク県の小型の漁船の支援を行った、MorrisonsのJoe Prosho氏
「イギリスの小規模漁業は活気に満ちた、持続可能な未来の産業で果たすべき重要な役割を担っています。責任ある漁船基準は漁師が規模に関係なく、自分たちの安全、法的、環境に責任のある業務に責任を負っているという重要な保証を提供するのに役立ちます。イギリス全体での幅広い普及をサポートすることを楽しみにしています。」

2022年1月時点で、32施設が天然水産物に対応する加工工場基準(SPS)を取得。
27隻が責任ある漁船基準(RFVS)を取得しております。
取得した生産者の情報は [BSPウェブサイト](#) から確認頂けます。



写真はTatis FR 229

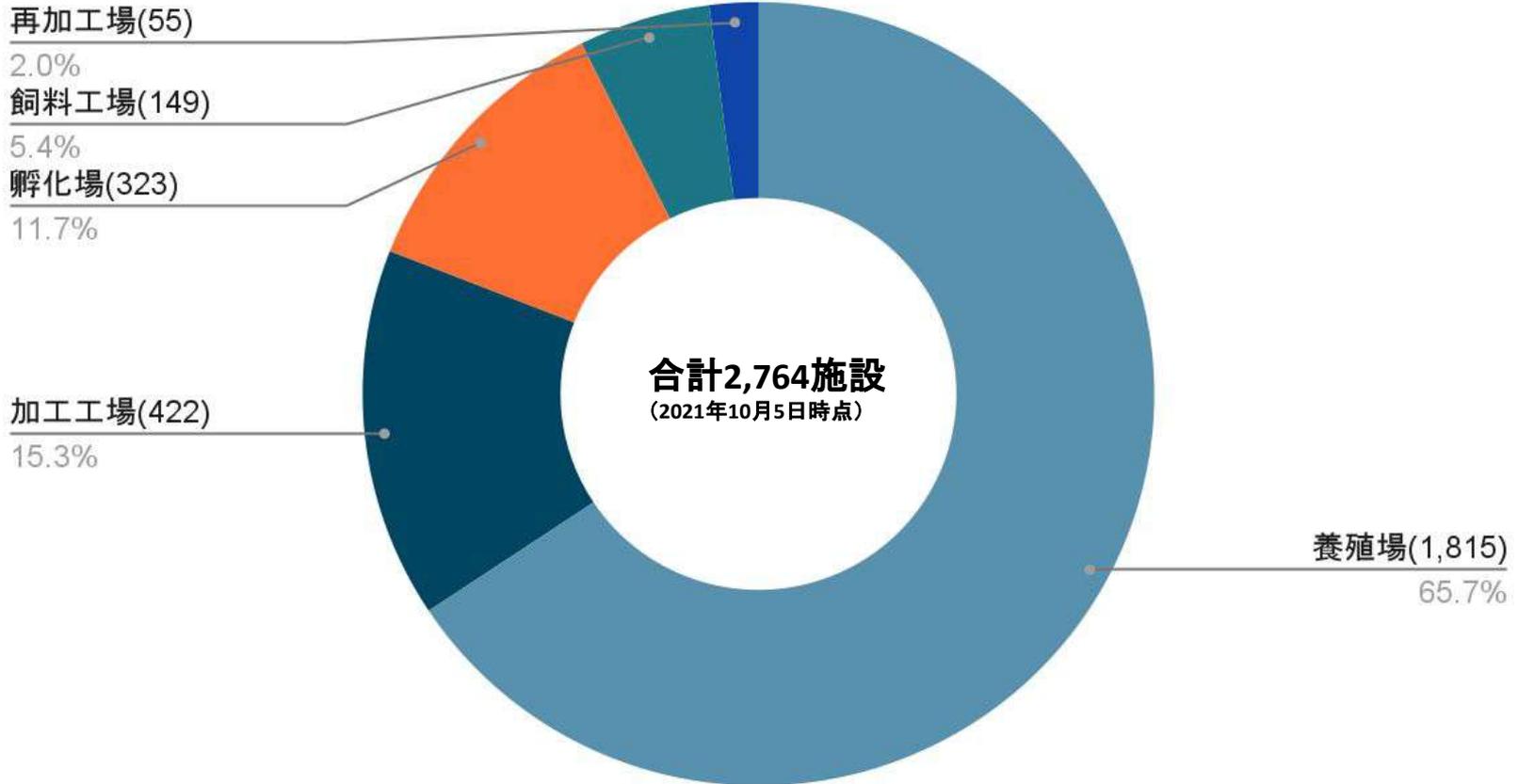


写真は小型の漁船Lisa Diane YH9

世界での認証施設数

現在システム改訂中のため、こちらのページは先月と同じものです。

世界でのBAP認証施設数(2021年10月5日時点)

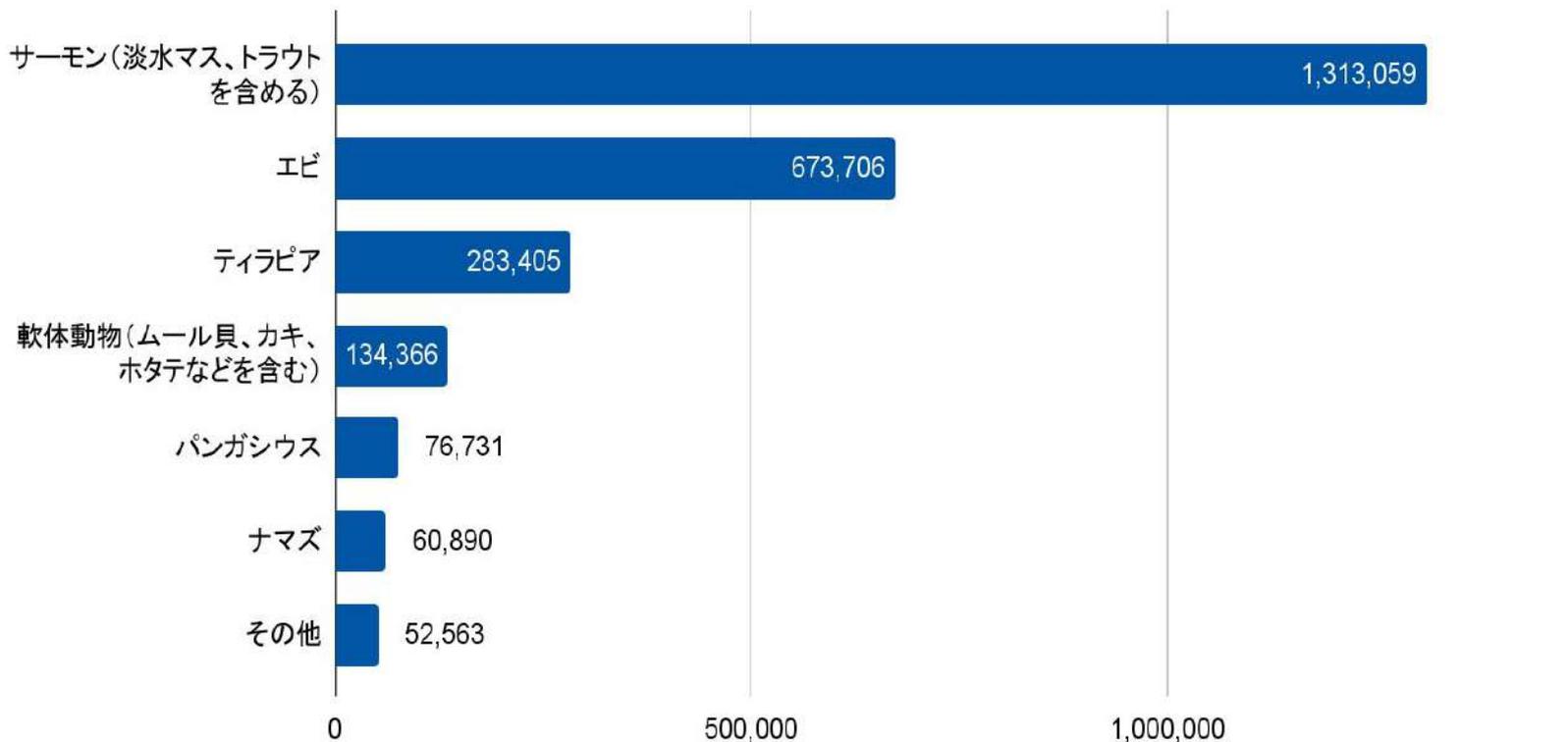


2021年10月5日時点のBAP認証施設数は2,764軒です。
※こちらの数字は各施設の直近の監査結果より集約されております。

魚種別の認証生産量1

現在システム改訂中のため、こちらのページは先月と同じものです。

2021年10月5日時点（単位:トン）



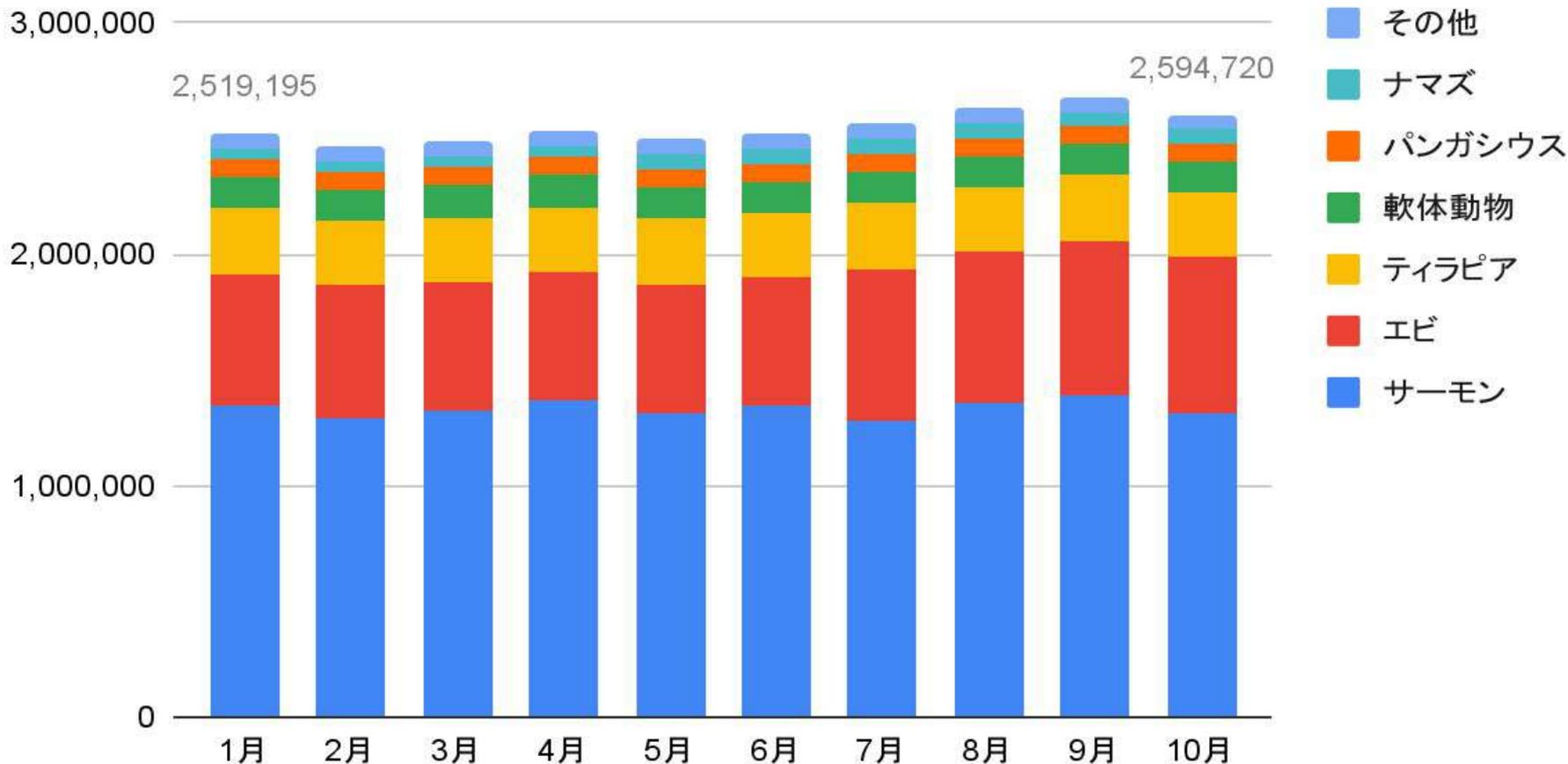
2021年10月5日時点、BAP認証水産物の世界合計は **2,594,720トン**です。

※こちらはBAP認証を取得している全養殖場の直近の監査結果からの数字です。
基本的には2020年1月～2020年の12月まで(カレンダー一年)の生産量になります。

魚種別の認証生産量2(年間の推移)

現在システム改訂中のため、こちらのページは先月と同じものです。

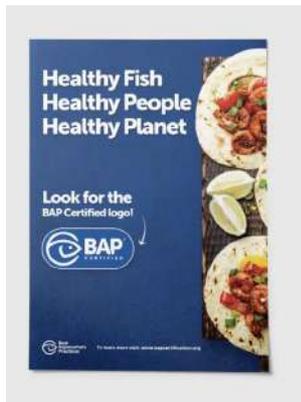
2021年10月5日更新(単位:トン)



※こちらはBAP認証を取得している全養殖場の直近の監査結果からの数字です。
基本的には2020年1月～2020年の12月まで(カレンダー一年)の生産量になります。

BAP認証フェアの企画大募集中です！

BAP認証を運営するGSAではマーケティングサポートも積極的に行っております。
共同でのイベントをご希望の方は日本マーケット担当芝井までご連絡下さいませ。
それぞれのイベントのご要望に合わせて打ち合わせをさせて頂き、必要に応じてポスター、ポップ、
その他ビデオ、ステッカー等々を 無料にてデザイン、納品致します。
※必要枚数の印刷に関しては各企業様でご負担を頂けます様お願い致します。



Front (4' x 6')



Back (4' x 6')



マーケティングサポート用にご用意ができる資料は以下をご参照下さいませ。

<https://drive.google.com/file/d/1COWGrAKVCVoEldZzmsOcSIXJZHcQ5-5h/view?usp=sharing>

マーケットとして導入しやすいBAP認証

ふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場はBAP認証の対象になり、年に一度の監査が必要になります。商品の加工が発生しないサプライヤー、小売、社員食堂やレストランなどのフードサービスはエンドーサー合意書の締結のみで、無料でBAPロゴの使用やリリース、レポート等での発信が可能になります。

特例1: 個別包装された商品を開封、再梱包またはラベルの張り替えをせず、商品の梱包やラベルをそのままの状態での流通する場合について。その施設は加工工場認証の取得対象外になり、エンドーサー合意書の締結のみ必要となりBAPロゴ付き商品として、そのまま販売して頂けます。

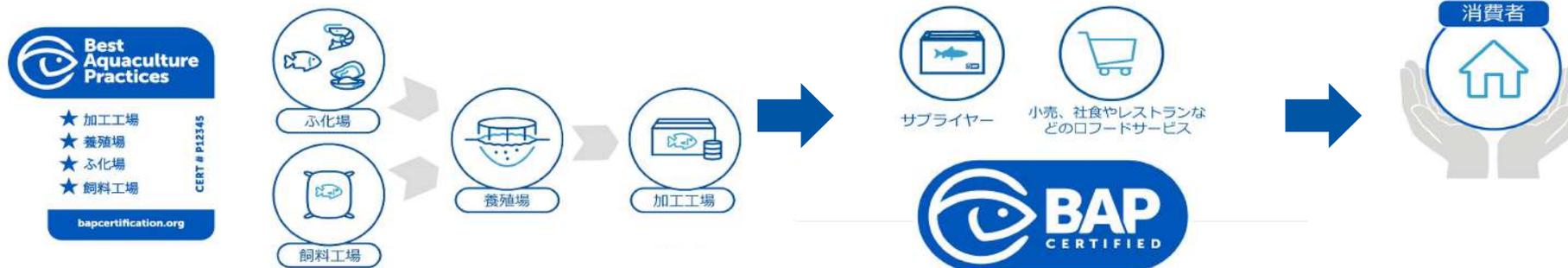
特例2: 最終消費現場での商品の加工、調理、再包装、またラベル張り替えをする場合は加工工場認証の対象外となり、エンドーサー合意書の締結のみでロゴを使用いただけます。(スーパーのバックヤード加工、飲食店・レストラン・ホテルの調理場加工など。)

また、複数の水産物を使用した製品に関して、使用された一部の水産物がBAP認証であればロゴマークを使用することができます。可能な限りどの水産物がBAP認証なのかを明記してください。

詳しくは<https://japan.bapcertification.org/Marketing>よりBAP認証ロゴガイドラインをご参照ください。

ふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場はBAP認証の対象となります。

BAP認証水産物を販売促進または購買支援する企業はエンドーサー契約の対象となります。



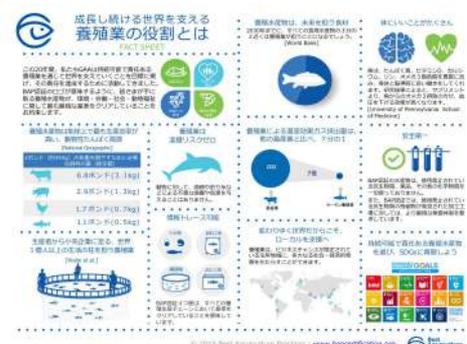
BAP認証の日本語版の各種資料について

BAP認証に関する日本語の三つ折りパンフレットや、各種資料を以下のリンク先より無料ダウンロードすることができます。是非ご活用下さいませ。

<https://japan.bapcertification.org/Marketing>



GSAとBAP認証のご案内



養殖漁業ファクトシート



BAP認証ロゴマーク使用ガイドライン



2020年次レポート

BAP認証の日本語ロゴについて

BAP認証の日本語版ロゴを用意しております。
利用をご希望の方は芝井までお問い合わせください。
kota.shibai@globalseafood.org



魚と人の
未来のために



責任ある
養殖水産物の
国際基準



国際基準を満たした環境で
養殖されています



海と魚を守る安心の
BAPマーク



きれいな海で獲れた健康な
魚介類の証

ニュースレターに関するお問い合わせは以下までお願い致します。
※二次利用をご希望の方はお問い合わせ下さいませ。

世界水産物連盟 日本マーケット担当
芝井 幸太

メールアドレス：
kota.shibai@globalseafood.org

電話番号：
080-2167-0086

BAP認証ウェブサイト
<https://japan.bapcertification.org/>

※配信停止をご希望の方は、こちらまで「配信停止」とご連絡くださいませ。

